

石和温泉旅館協同組合と

コラボ

ACTIVE KUMIAI

山梨県民信用組合



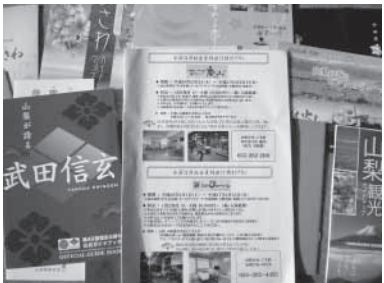
話し合いを行う廣瀬理事長と山下理事長

山梨県民信用組合（廣瀬正文理事長）では、基本理念に「山梨県全域にわたる地域のお客様から最も信頼されるコミュニティ・バンク」を位置付け、経営理念のひとつとして「地域社会の健全な発展と持続に貢献」することを目標に活動している。

全国各地で事業展開している信用組合の強みは、地域に密着し中小企業者や地域住民のニーズを的確にとらえその情報を生かすことができることにある。また、全国の信用組合の情報交換の場として組織された全国信用組合中央協会では、各信用組合間やそれぞれの顧客の連携を補完するための『しんくみネット』を提供し、地域を越えて各種事業の展開を支援している。

昨年6月に富士山が世界文化遺産に登録され世界的に山梨県が注目されたことを契機に、山梨県民信用組合では、富士山に近く、周辺には、日本一の生産量を誇る桃やぶどう、また四季折々の花々やワイナリーといった見所がたくさんある石和温泉旅館協同組合（山下安廣理事長）と話し合いを進め、中央協会の『しんくみネット』を活用して全国の信用組合に山梨県の観光案内を発信することとなった。この企画には、「山梨県観光推進機構」や「笛吹市観光物産連盟」の協力を得て様々な特典を付けた宿泊プランを企画し、全国の信用組合の組合員や全国の信用組合が関係する年金旅行などに気軽に利用できるようにしている。

廣瀬理事長は、「今後も金融事業ばかりでなく、地域の中小企業者等の事業活動のサポートができるよう信用組合の強みを最大限に生かしていきたい。」と力強く述べていた。



全国の信用組合に発信した山梨県の観光案内